

第3回 北区岩淵周辺地区 かわまち推進検討会

令和8年6月4日

北区まちづくり推進部まちづくり推進課

第3回 北区岩淵周辺地区かわまち推進検討会

次第

日時 令和8年6月4日（木）17時30分～19時30分

場所 荒川下流河川事務所1階 アモアホール

1. 第2回推進検討会の振り返り

2. 議事

（1）かわまちラボ活動報告

（2）基本設計について

3. 今後のスケジュールについて

1. 第2回推進検討会の振り返り

1. 第2回推進検討会の振り返り

■開催日時 令和8年2月4日（水） 15時～17時

➤ 河川空間のオープン化区域について

【事務局案】

自然地を除く北区の占用区域全域を対象とする



凡例	占用者	維持管理者	備考
	道路公園課(公園係)	指定管理(公園係)	
	道路公園課(公園係)	未定	新たな占用区域(予定)
	道路公園課(公園係)	道路公園課(公園係)	
	道路公園課(公園係)	指定管理(スポーツ推進課)	

※親水護岸については、赤水門広場ゾーンまたはレクリエーションゾーンで最適な箇所に1か所程度の整備を予定

1. 第2回推進検討会の振り返り

■ 検討会での主なご意見

➤ 河川空間のオープン化区域について

- ・ 眺めのよい赤水門緑地前の広場もオープン化区域に含めてはどうか
- ・ 国管理の通路部分も可能な範囲でオープン化区域に含めてはどうか
- ・ オープン化区域と区域外の利用で申請手続きが煩雑にならない方がよい

➤ 基本設計（中間報告）について

- ・ 法面が手すりだらけにならないよう、空間全体のデザインを統一的に検討
- ・ 堤防天端拡幅部および岩淵橋付近の休憩スペースは、動線を妨げない位置に配置
- ・ 日常利用の視点も重視する必要がある
- ・ 駐車場は平日利用も可能な運用が望ましい
- ・ アモア3階は、既存の図書を活かした活用を検討
上流側テラスの活用も視野に



第2回推進検討会の様子

1. 第2回推進検討会の振り返り

第2回北区岩淵周辺地区かわまち推進検討会 箇所別のご意見



- ・坂路幅員は3m程度で良い。
- ・スロープに挟まれた平場（下図緑枠）は花火会の観客席として重要なので、坂路拡幅後も利用できるようにしたい。
- ・赤水門を望む一番良い箇所のため、当該箇所も眺望を活かした整備を検討すべき。

- ・赤水門を望む一番良い箇所のため、当該箇所も眺望を活かした整備を検討すべき。

- ・新たな階段や通路を整備すると、法面が手摺だらけとなり、赤水門の眺望が良い場所への移動できなくなるため、手摺がない場所があっても良い。



- 【荒川知水資料館3階及びテラス】
- ・上流側のテラスについても日陰があると良い。テラスは2箇所とも使いたい。
 - ・既存の図書を活かして地域の人が歴史を学ぶ場として活用してもらいたい。
 - ・カフェを運営するという目標をたてて取り組むことが必要。それに合わせて、バックヤードの水回りを整備すべきだ。



- ・ベンチを設置する部分だけ盛土すればよいのではない

- ・花火会終了後に帰る人が滞留する場所となる。少なくともベンチは取り外しができる構造が望ましい。
- ・ベンチの取り外しはむずかしいため、人の流れを分ける方法を考えてもらった方が良い。
- ・警察と協議をしてから整備を検討した方が良い。
- ・堤防拡幅部にキッチンカーが入るようにしたい。
- ・現状の白いガードレールの改良。



- ・遊歩道の幅員は計画ほど
拡幅する必要はない。

2.1 かわまちラボ活動報告

- (1) かわとまちの回遊性強化、エリアの魅力発信・PR
- (2) かわとまちの公共空間活用
- (3) 河川空間のオープン化区域の検討および基本設計内容の検証

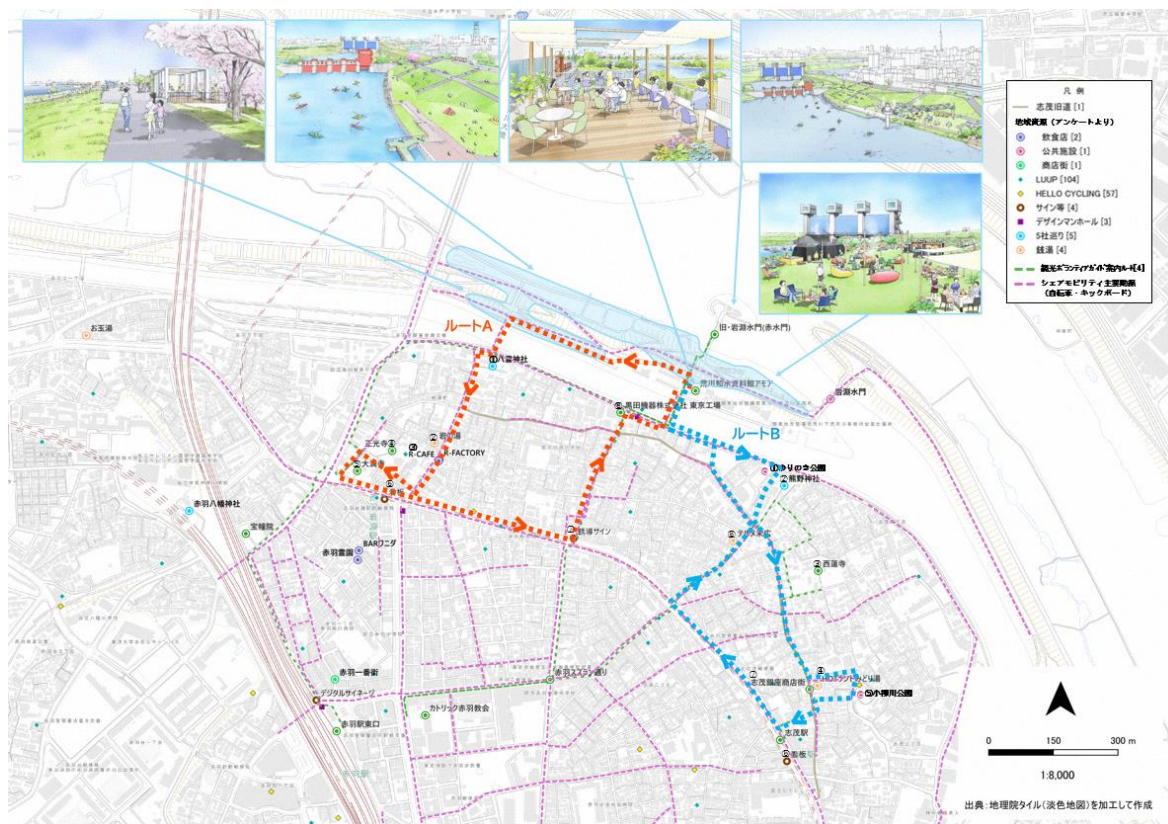
2.1 かわまちラボ活動報告

(1) かわとまちの回遊性強化、エリアの魅力発信・PR

2ルートの「まち歩き」を通じて、資源や課題の発掘



回遊性向上や魅力発信等の課題や手法を班別で検討



まち歩きのルート



まち歩きの様子

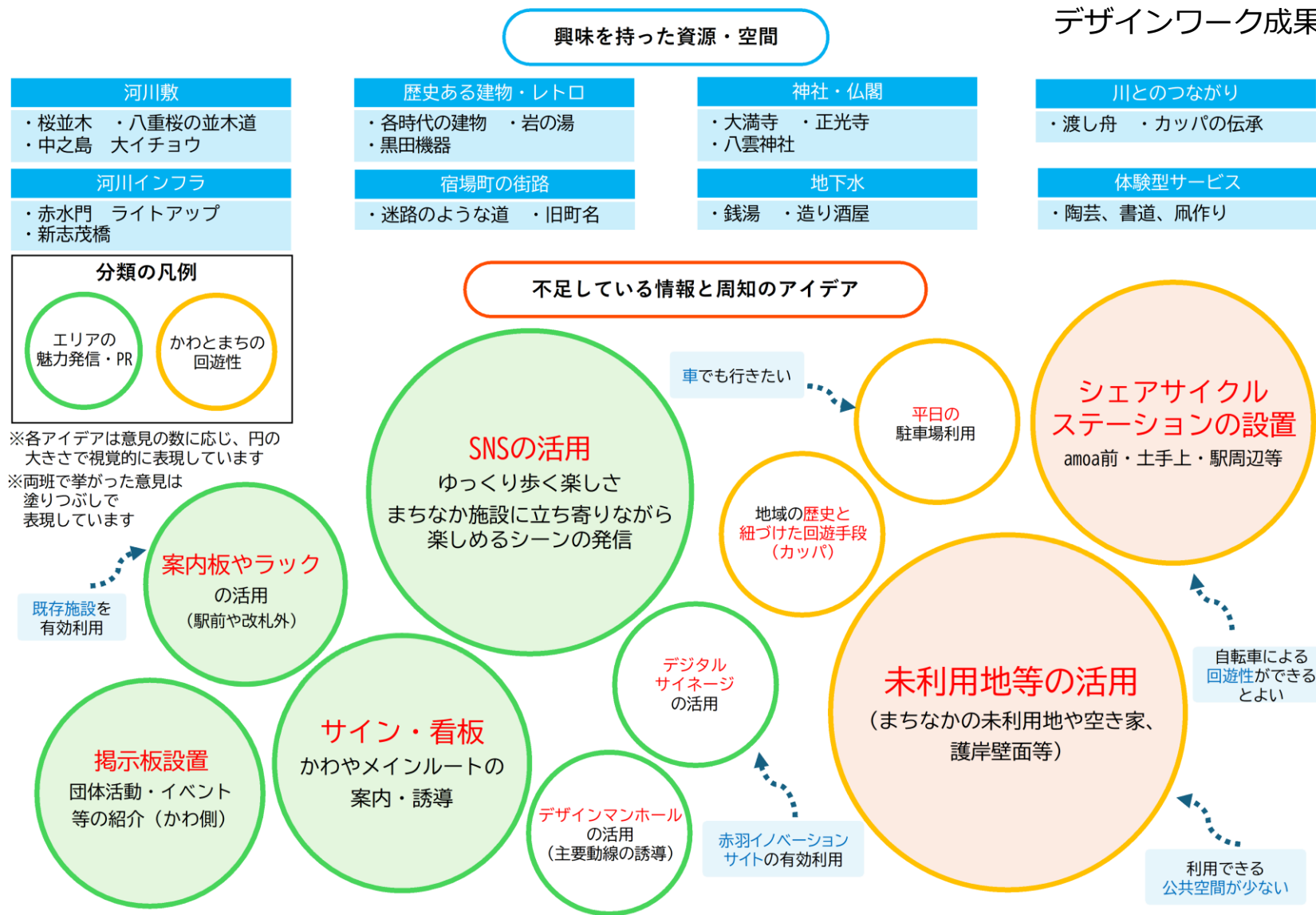


グループワークの様子

2.1 かわまちラボ活動報告

(1) かわとまちの回遊性強化、エリアの魅力発信・PR

デザインワーク成果 (A班)



2.1 かわまちラボ活動報告

(1) かわとまちの回遊性強化、エリアの魅力発信・PR

デザインワーク成果 (B班)

興味を持った資源・空間

飲食店
・炭火焼き ・肉専門店 ・会員制の肉店
子育て支援施設
・ほっこり～の志茂店

神社・仏閣
・除夜の鐘（西蓮寺） ・距離のある参道（熊野神社）
防災（いっとき時集合場所）
・志茂ゆりのき公園

アート
・志茂四丁目会館（地元漫画家によるシャッターアート）
土地利用
・アパート（集合住宅）が多い

レトロ
・昔ながらの商店や精肉店 ・銭湯や銭湯キャラクター協会 ・テルメ末広（看板・建築）

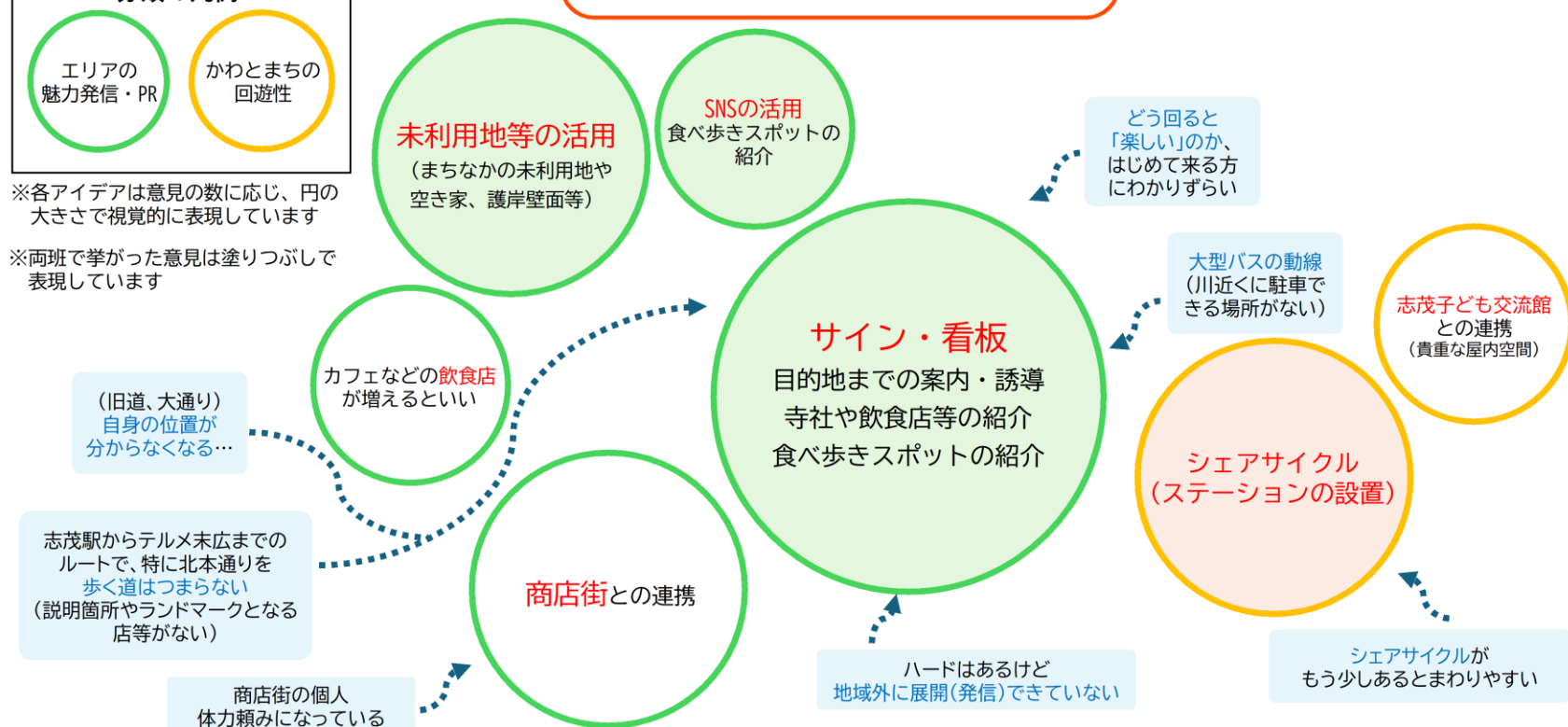
分類の凡例



※各アイデアは意見の数に応じ、円の大きさを視覚的に表現しています

※両班で挙げた意見は塗りつぶして表現しています

不足している情報と周知のアイデア



2.1 かわまちラボ活動報告

(1) かわとまちの回遊性強化、エリアの魅力発信・PR

I. 誘導案内ツールの導入イメージ

- ・ 現在地の把握や目的地への誘導ができる「案内板」及び「路面サイン」の設置
- ・ 河川敷や周辺で開催されるイベント情報等を周知できる「告知用掲示板」の設置



現在地がわかりやすい案内板



路面サイン
(道路への誘導ペイント含む)

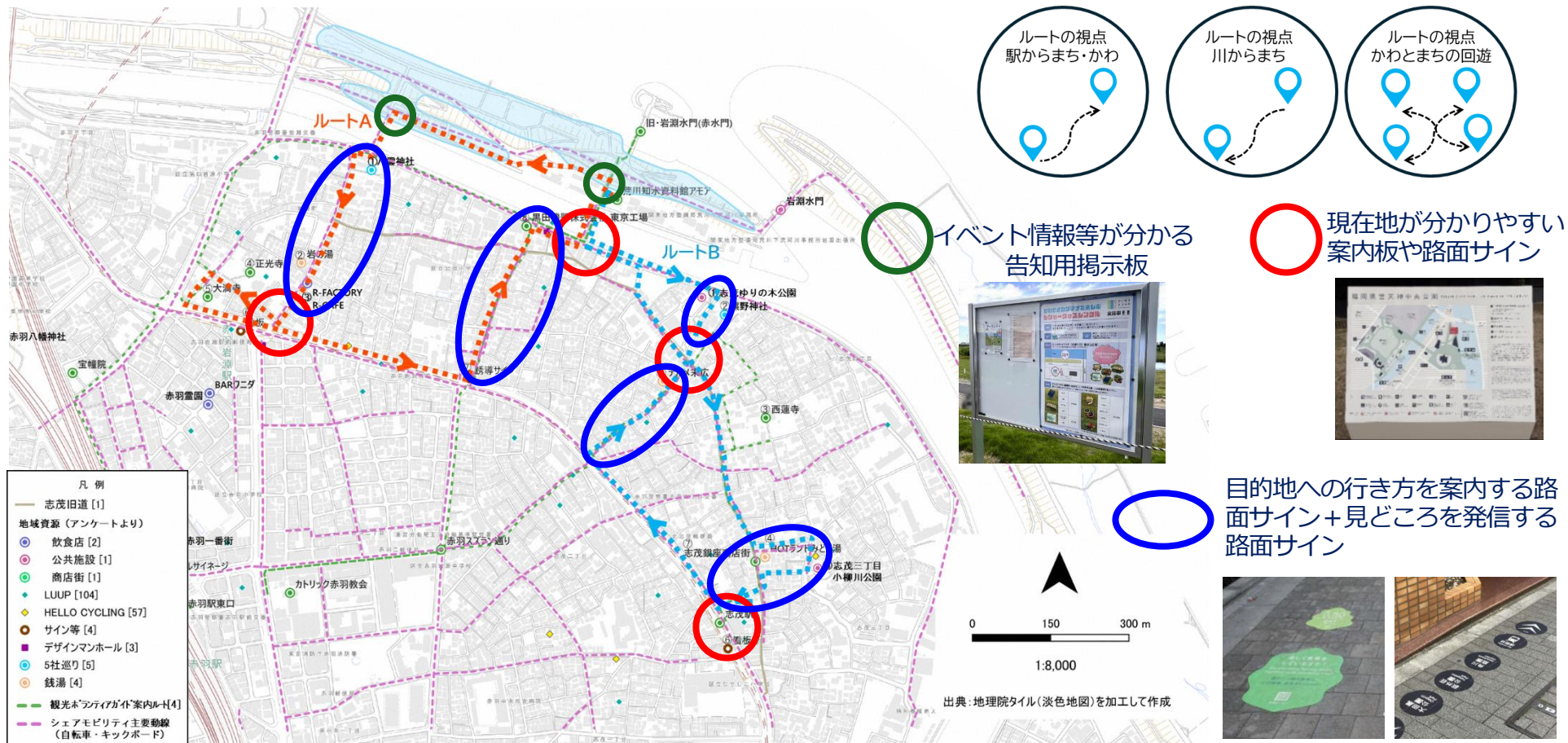


告知用掲示板

2.1 かわまちラボ活動報告

(1) かわとまちの回遊性強化、エリアの魅力発信・PR

・設置候補箇所(案内板、路面サイン、告知用掲示板)

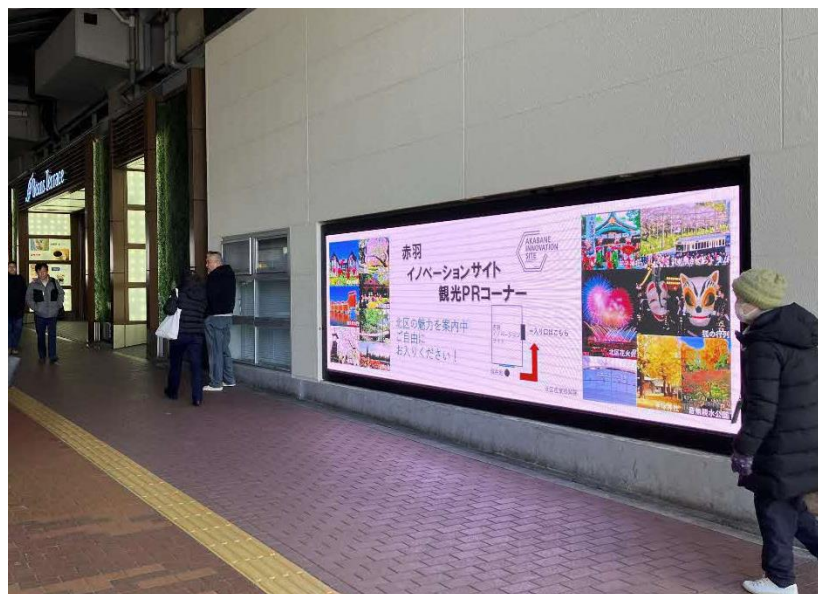


2.1 かわまちラボ活動報告

(1) かわとまちの回遊性強化、エリアの魅力発信・PR

Ⅱ. デジタルサイネージ（活用イメージ）

- 赤羽イノベーションサイト
 - ・ 縦横比が縦 9：横 3 2
 - ・ 画像または動画（音無し）の出力が可能
- その他デジタルサイネージ
 - ・ 区役所や会館、Kバス、amoa等での導入を検討



赤羽イノベーションサイト脇のデジタルサイネージ



【旧岩淵水門】、東京都北区、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示4.0 国際 (<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>)

2.1 かわまちラボ活動報告

(2) かわとまちの公共空間活用

■ かわ側でのイベント連携

荒川 RIVER SIDE FESTIVAL (11/29) ※指定管理者の自主事業視察



開園21周年水辺の楽校 (4/18) ※北区・子どもの水辺との連携



2.1 かわまちラボ活動報告

(2) かわとまちの公共空間活用

■まち側でのイベント連携

いわぶちまち防災オープンDAY (12/13)

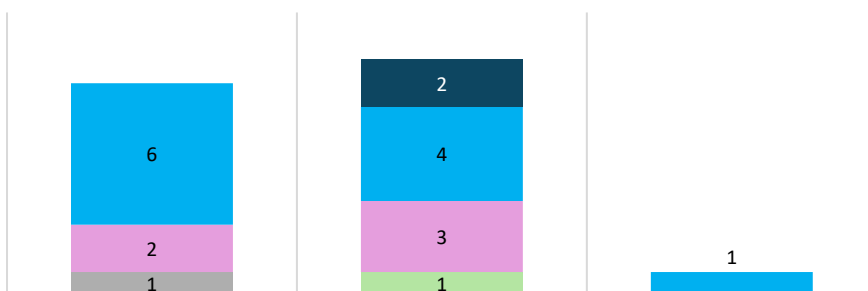
※防災まちづくりとの連携



意見交換の場への参加意向

回答総数：20
複数回答可

10歳以下 11～19歳 20～39歳 40～59歳 60歳以上



ぜひ参加してみたい

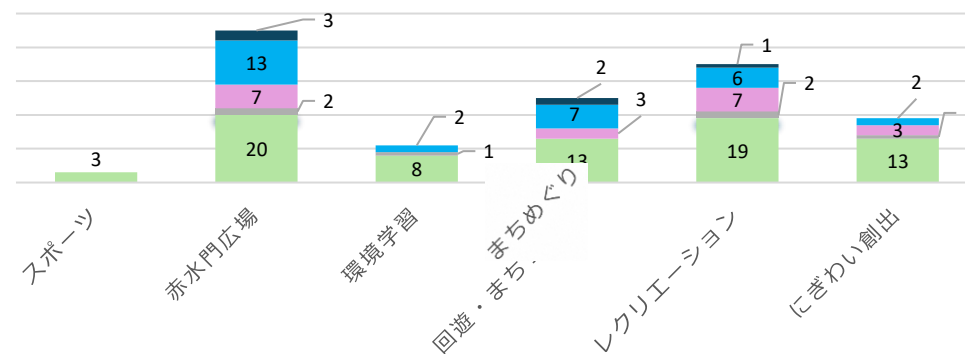
興味はある・応援したい

その他

魅力スポット調査

回答総数：138
複数回答可

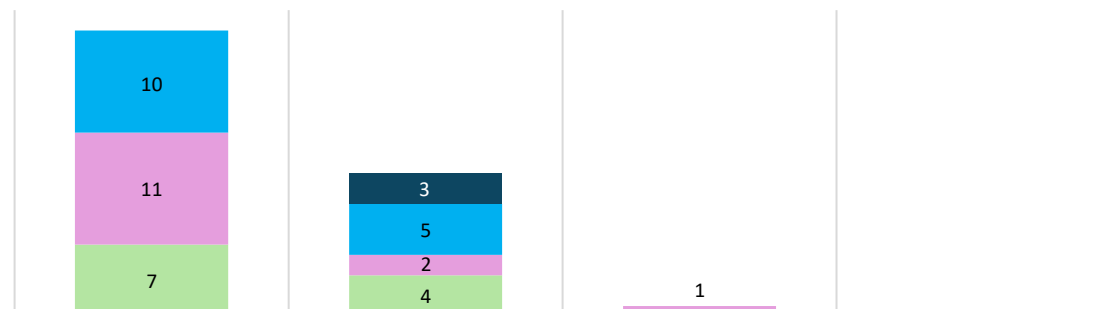
10歳以下 11～19歳 20～39歳 40～59歳 60歳以上



イベントへの参加意向

回答総数：43
複数回答可

10歳以下 11～19歳 20～39歳 40～59歳 60歳以上



ぜひ参加してみたい

興味はある・応援したい

まだよくわからない

あまり関心がない

2.1 かわまちラボ活動報告

(2) かわとまちの公共空間活用

■空間活用（パッケージ案の作成）

- ・多様な活動が点在し、“面”としての魅力が活かしきれていない
- ・これらをつなぐことで、長時間滞在やまち全体の回遊につながる体験を創出できる
- ・将来的な事業化・持続的運営を見据え、利用者の1日の過ごし方を具体化することが重要

① 具体的な検証内容を想定する！

活用エリア

ターゲット

内容

(活用エリアの参考)

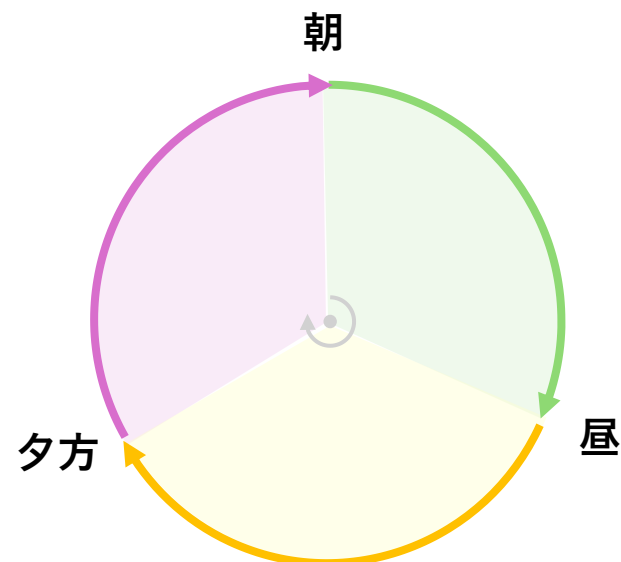


amoa 3階



BBQ場

② 1日のパッケージ（案）を作成する！



2.1 かわまちラボ活動報告

(2) かわとまちの公共空間活用

A班〈プロセスを中心に意見交換〉

企画検討のプロセス

- ・プロセスの「軸」が大切

- ・ここで何ができるのか（内容とその周知）
- ・来訪者がプログラムを選べるようにする
- ・滞在時間を長くする

軸① 内容（ここで何ができるのか）

- ・学習（子ども）
- ・歴史
- ・食
- ・スポーツ
- ・遊び

軸② ターゲット（誰に）

- ・子ども（学習）
- ・家族
- ・個人
- ・インバウンド
- ・カップル

軸③ 活動エリア

- ・amoa（拠点）
- ・河川敷
- ・まちなか
- ・水上

パッケージ案

朝 → 昼 → 夕方 → 夜

- ・食材さがし（食べられる植物、テナガエビ、ハゼ）
- ・釣り等（ハゼ釣り、ガサガサ、セミナー化）
- ・非常時の食
- ・ランニングクリニック
- ・お寺での朝活
- ・凧あげ・絵付け体験〔冬〕
- ・amoa：ピクニック貸出・弁当販売

- ・まち歩きと地域資源発掘
- ・amoa：歴史学習、インドアサロン
- ・駐車場：フリーマーケット〔春・秋〕
- ・ドローン操縦体験
- ・自然観察会
- ・リバーサイド夕涼み会・夕日鑑賞
- ・桜並木散策〔春〕
- ・焚き火イベント〔冬・宿泊あり〕
- ・凧あげ体験〔冬〕

- ・銭湯でリフレッシュ
- ・ランナーズミーティング
- ・夜の生き物探し（トラップ〔昆虫〕、木の周り）⇒キャンプとコラボ〔夏〜秋〕
- ・夜間のBBQ・ビアガーデン〔夏〕
- ・ダイヤモンド富士鑑賞会

【家族・グループ】アウトドアスクール、防災キャンプ・・・〔昼〕＋アクティビティ体験・防災ウォーク・町歩き・・・〔夕〕 防災キャンプ・非常食

【インバウンド】日本体験（食）・・・〔昼〕 日本体験・文化体験・・・〔夕〕 日本体験（酒）

- ・シェアサイクル（ポートの設置）：各アクティビティへの送客効果、移動手段の拡大・回遊性の向上、実証実験後の利用者へのアンケート実施、利用動態の可視化（移動軌跡や一時駐輪データなど）

2.1 かわまちラボ活動報告

(2) かわとまちの公共空間活用

B班〈キーワードを中心に意見交換〉

企画コンセプト（考え方）

- ・ **かわとまちを一体（広域）で考える**
- ・ **特別感のあるパッケージの効果的な発信**
(例：プレミアムフライデーのように、月末の週末や土日祝のみの限定開催)
- ・ **学習と体験が組み合わさったここにしかないコンテンツ**
【学習】防災や環境学習、地域の歴史、地域資源
【体験】自然を生かしたアクティビティ、スポーツ、ガイドツアー、ワークショップ、ライトアップ、たき火
- ・ **親も子も、人もペットも一日快適に過ごせる**

ターゲット（誰に）

〈個人〉

- ・ 来街者や観光客
- ・ 親子
- ・ 地域居住者
- ・ ペット連れ

〈団体〉

- ・ 小学校のクラス単位
(例：100人くらい)
- ・ 企業

必要なこと・要素

- ・ 活動団体やエリア間の連携・協働
- ・ 規制緩和（amoa開館延長、amoaやかわの利用制限）
- ・ 情報発信コンテンツ（参加者がSNSで発信したくなる）

パッケージ案（上段：エリア、下段：コンテンツ（抜粋））

活動エリア：かわ

(amoa、関緑地バーベキュー場、北区子どもの水辺、水上)

活動エリア：まち

(商店街、銭湯、個人飲食店、寺院、古民家レンタルスペース)

活動エリア：かわ

(amoa、堤防天端、関緑地バーベキュー場、赤水門・青水門)

朝 → 昼 → 夕方 → 夜

- ・ amoaや子どもの水辺での防災・環境学習、アウトドアスクール
- ・ 街歩き & 自然観察
- ・ 渡し舟(体験)
- ・ スポーツ体験
- ・ ドッグラン
- ・ サウナ
- ・ 朝活（朝食）例:ドローン
- ・ 自転車交通教室

- ・ 防災炊事体験
- ・ 水上アクティビティ
- ・ BBQ
- ・ 体験学習(お寺、amoa、河川敷)
- ・ まち巡り
- ・ 商店街・1人じゃ入りづらいお店の散策(ガイド付き)
- ・ 自然観察会・桜並木散策
- ・ レンタル古民家を活用した、企業の合宿・ワーケーション、講演（セミナー）

- ・ (仮称) amoaプレミアムフライデー (amoa開館延長や限定宿泊)
- ・ キャンプファイヤー・焚き火・手持ち花火
- ・ ビアガーデン
- ・ 河川敷での夕景を見ながらの食事
- ・ プロジェクションマッピング、ライトアップ
- ・ エンタメ（ゲーム、スポーツ観戦、映画上映）
- ・ amoaカフェ・バー
- ・ 銭湯
- ・ 昆虫採集

2.1 かわまちラボ活動報告

(2) かわとまちの公共空間活用

活動④（7月）及び活動⑤（11月）の目的

検証の狙い（1）

河川空間のオープン化※に向けた
占用エリア（候補）の活動検証

※オープン化により、占用許可を受けた事業者の営業活動が可能

検証の視点

事業性

Point

①：集客に寄与する導入機能

②：利用快適性（空間）

③：地域との関わり

検証の狙い（2）

ラボメンバー協働による新たな魅力づくり
（パッケージプログラム案）の検証

検証の視点

かわとまちの一体利用
（一部事業性を含む）

Point

①：協働による新たな活用プログラム

②：水上と河川敷内建物の一体利用

③：かわとまちの一体利用

かわまちラボ活動④では、コンテンツの試行を通じて

検証の狙い（1）のPoint②・③、検証の狙い（2）のPoint①・②の検証を実施

2.1 かわまちラボ活動報告

(2) かわとまちの公共空間活用

パッケージプログラム案の検証 ※実施内容については今後調整

活動④（7月）案

2部制プログラムを試行実施

（検証イメージ：午後の部）

13:00～ 河川敷の活用

- ・水上アクティビティの運営検証
※アモアの活用（更衣室等）含む
- ・あらかわ号を活用した荒川の歴史ガイド

15:00～ アモア3Fを活用した意見交換

- ・ラボメンバーによる滞在空間の検証
- ・運営スキームの意見交換

（検証イメージ：夜の部）

18:00～ 夜間の河川敷の活用検証①

- ・焚き火、飲食等の運用検証

19:07～ 夜間の河川敷の活用検証②

- ・動画配信による魅力発信
- ・水辺で乾杯（国交省プログラム）
- ・赤水門ライトアップ

活動⑤（11月）案

RIVER SIDE FESTIVAL（指定管理者自主事業）との連携
一般（モニター）参加プログラムを試行実施

（検証イメージ）

- 13:00～ シェアサイクルの体験・歴史散歩、赤羽のまち案内、駐車場の平日利用に関するアンケート
- 15:00～ アモア3Fカフェ運用・テラスくつろぎ体験検証（ベンチ等を配置）

2.1 かわまちラボ活動報告

(3) 河川空間のオープン化区域の検討および基本設計内容の検証

浮間地区荒川防災ステーションの活用可能性の検討

浮間地区防災ステーション

□ 施設の設備の確認と活用可能性の検討

- ・ 駐車場や施設内の設備、屋上の眺望を確認
- ・ サイクリストの休憩所や拠点としての活用可能性あり
- ・ サイクルポートの設置スペース等は十分に確保できることを確認



施設および駐車場の確認

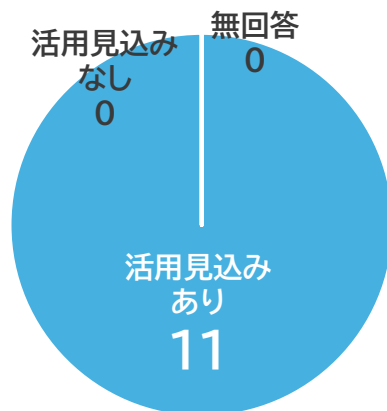


屋上の眺望の確認



浮間地区荒川防災ステーションについてのアンケート結果（回答者数 11名）

6 浮間地区荒川防災ステーションについて



活用頻度、時期等の主な意見

- レンタルオフィス(レンタルオフィスを利用する会社がランニングステーション等を運営)
- 屋上でビアガーデン
- 普段は休憩できるスペース
- 春・秋サイクリング大会のイベント等の時に
- 花火大会の有料席、夏場の子ども向けプールイベント・水遊び
- イベント時の活用、防災のことを知ってもらえる良い機会になる
- 駅から近いこともあり、北赤羽エリアの活性化に資するものにすべき
- 特に子育てグループ、地域活性化グループの活用を誘う
- 新河岸川はカヌー利用があればその人たち向けに
- 自販機があると良い

2.1 かわまちラボ活動報告

(3) 河川空間のオープン化区域の検討および基本設計内容の検証

検証① グラウンド・芝桜周辺箇所

検証① グラウンド・芝桜周辺箇所を想定

□ 滞在時間を増やすキッチンカーの配置のため、舗装の必要性や配置箇所を検証

- ・ グラウンド脇(占用地内)スペースの活用可能性あり、舗装不要【写真①】
- ・ 自転車動線を考慮し、堤防天端入口部(占用地外)の活用可能性あり、舗装不要【写真②】
- ・ 歩行者動線との兼ね合いで、常設ではなく、椅子等の什器の貸出も考えられる



【写真①】 キッチンカーの配置候補地



【写真②】 キッチンカーの配置候補地

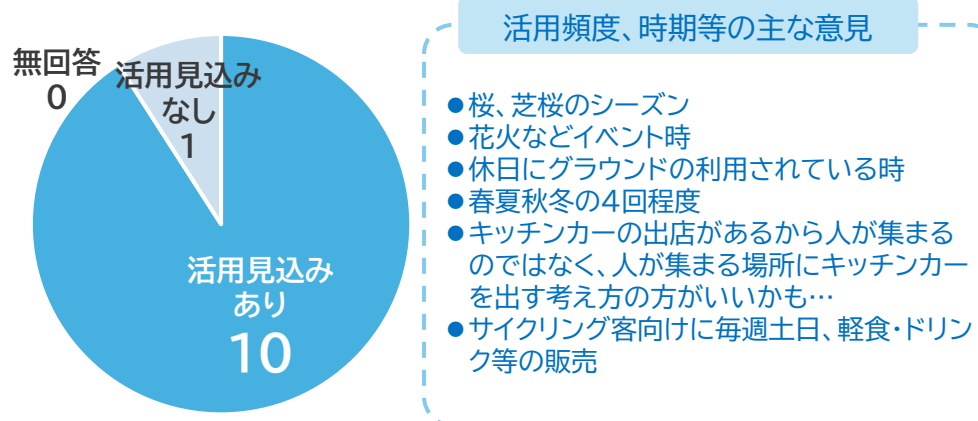


芝桜近くの滞在空間

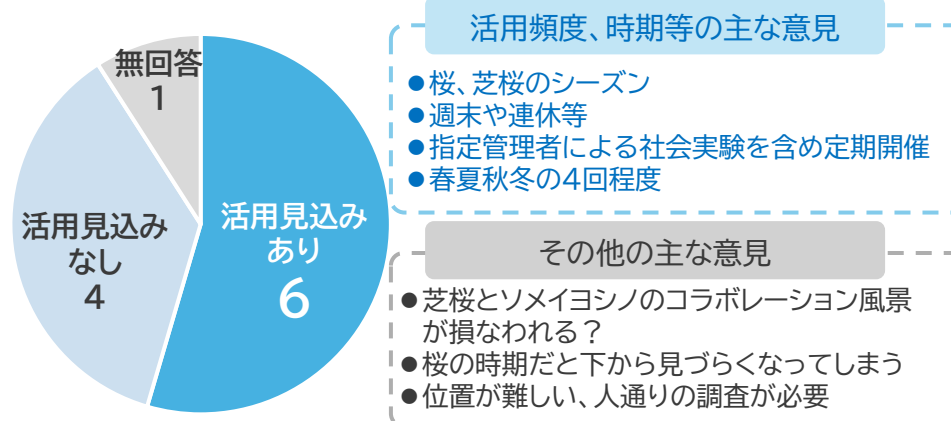


検証①についてのアンケート結果（回答者数 11名）

1-1 グラウンド脇(占用地内)スペースの活用【写真①】



1-2 堤防天端入口(占用地外)スペースの活用【写真②】



2.1 かわまちラボ活動報告

(3) 河川空間のオープン化区域の検討および基本設計内容の検証

検証② 岩淵橋周辺箇所

検証② 岩淵橋周辺箇所

□ 来訪者への情報案内のための掲示板やパーゴラ・ベンチの配置箇所を検証

- ・ まちと川との結節点であり、上流と下流をつなぐ休憩場所となり得ることを再確認
- ・ 花火会等のイベント時には、仮囲い等の安全対策を講じて対応できるのでは
- ・ できる限り柵側に寄せることとし、椅子だけでなく、テーブルベンチが望ましい【写真①】
- ・ 掲示板はベンチの延長線上の位置では分かりにくいいため、川側が候補箇所【写真②】



【写真①】 パーゴラ・椅子の配置候補地

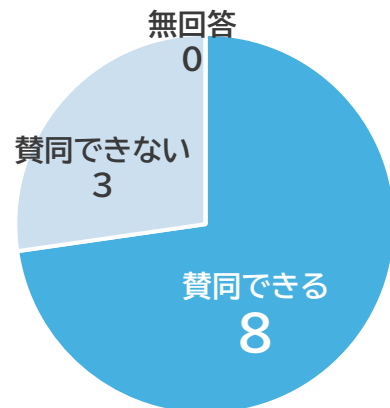


【写真②】 掲示板の設置箇所に関する検証



検証②についてのアンケート結果（回答者数 11名）

2 岩淵橋周辺箇所における「掲示板」「パーゴラ」「テーブルベンチ」の設置について



賛同できない・意見がある部分

- 常設のものだと撤去をすることができず、活用の幅がせまくなってしまう
- テーブルベンチは設置するにしても可動式にしてほしい
- ベンチを置くことで、使用方法が制約されてしまうことも。設置の場合、日差しが強いので屋根が必要

2.1 かわまちラボ活動報告

(3) 河川空間のオープン化区域の検討および基本設計内容の検証

検証③ 堤防天端拡幅部・新志茂橋周辺箇所

検証③ 堤防天端拡幅部・新志茂橋周辺箇所

□ ベンチの必要性・配置箇所を検証

- ・ 堤防天端拡幅部は、桜の間にベンチがあると良い【写真①】
- ・ 荒川と新河岸川が両方眺望できる魅力的な眺望であることを確認【写真①】
- ・ 岩淵橋周辺箇所は、ロードバイク等の交通量が多いため、拡幅盛土の必要性を確認【写真②】



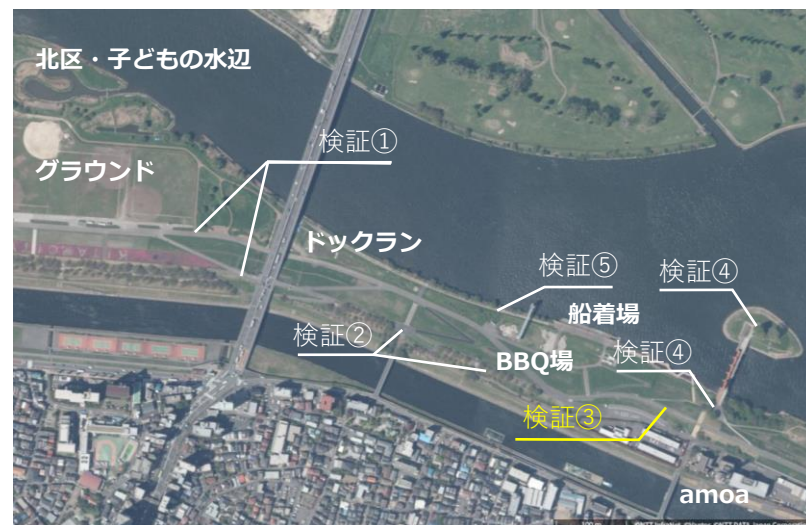
【写真①】堤防天端拡幅部の検証



【写真②】岩淵橋周辺箇所

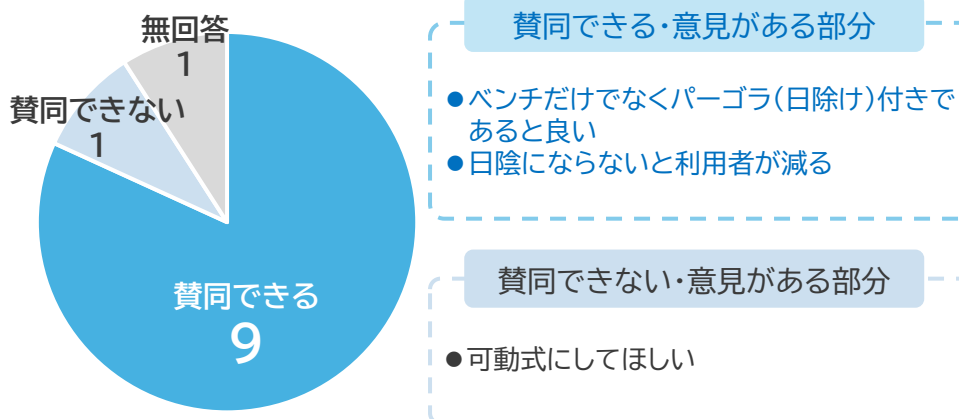


ベンチの配置候補地

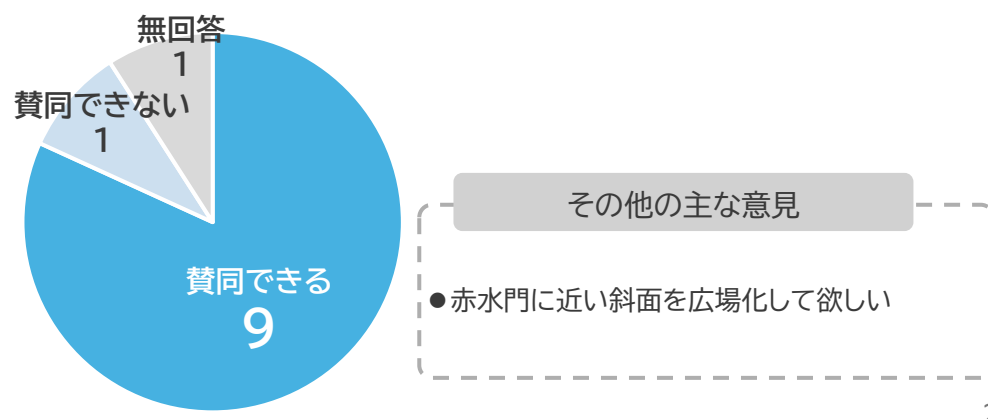


検証③についてのアンケート結果（回答者数 11名）

3-1 堤防天端拡幅部の「ベンチ」設置について【写真①】



3-2 新志茂橋周辺の「パーゴラ」「ベンチ」「サイクルラック」設置について



2.1 かわまちラボ活動報告

(3) 河川空間のオープン化区域の検討および基本設計内容の検証

検証④ 赤水門緑地(中之島)

検証④ 赤水門緑地(中之島)

□ 滞在空間の創出のため、ベンチ等の設置を検証

- ・ 中之島入口部(占用地外)はイベント等の一時的な活用の可能性あり【写真①】
- ・ 落ち着きのある雰囲気を基調とした空間整備の方向性を確認。東屋があった場所に、テーブルベンチを候補として提案【写真②】
- ・ 視線の抜けを大事にしつつ、ハンモック等の滞在快適性を向上させる設えも候補



【写真①】 中之島入口部



中之島の検証

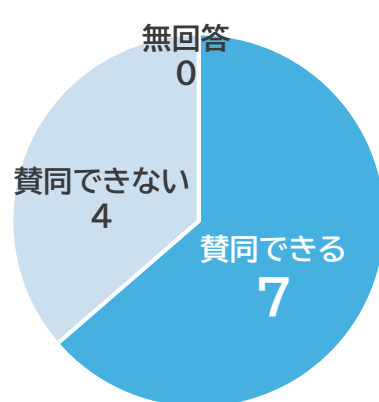


【写真②】 ベンチの配置候補地



検証④についてのアンケート結果（回答者数 11名）

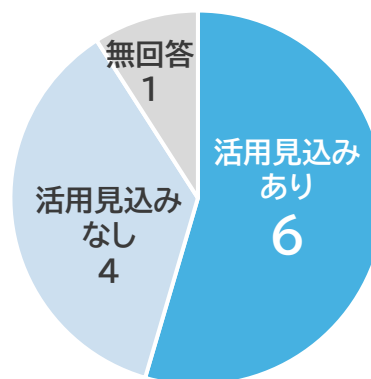
4-1 休憩スペースとして、テーブルベンチを設置【写真②】



賛同できない・意見がある部分

- 設置物を増やすと、イベントや出店時の場所的な制約が増し活用の幅が狭まる
- 常時、公園としてきれいな状態にしてほしい
- 現状はニーズがなく、休憩する人が少ない
- 設置する前に、利用者の調査や、テーブルを使いたくなる仕組み作りをすべき

4-2 入口部スペースの活用【写真①】



活用頻度、時期等の主な意見

- イベント時など一時的に
- イベント等で中之島を一つの区分けしたエリアとして活用するときのゲートとして入口部スペースは必要
- 赤水門の左側に盛土をして、赤水門の景観を眺められるスペースを
- 春夏秋冬の4回程度

2.1 かわまちラボ活動報告

(3) 河川空間のオープン化区域の検討および基本設計内容の検証

検証⑤ 散策路

検証⑤ 散策路の再整備

□ 散策路の必要性や付帯施設の検証

- ・ 上流側の「北区・子どもの水辺」やドッグランと赤水門広場を繋ぐ重要な動線であることを確認
- ・ 危険な箇所への転落防止柵設置の必要性を確認
- ・ 散策路だけでなく、散策の途中での休憩を想定し、ベンチの必要性も確認



転落防止柵の必要性を確認

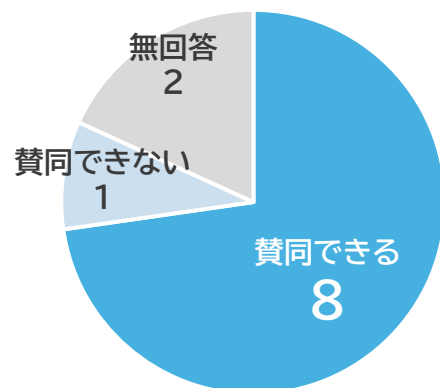


散策路と合わせたベンチ等の必要性を確認



検証⑤についてのアンケート結果（回答者数 11名）

5 散策路の再整備について



賛同できない・意見がある部分

- 管理も大変と思われる
- 草が絡み、景観が悪くなると思う

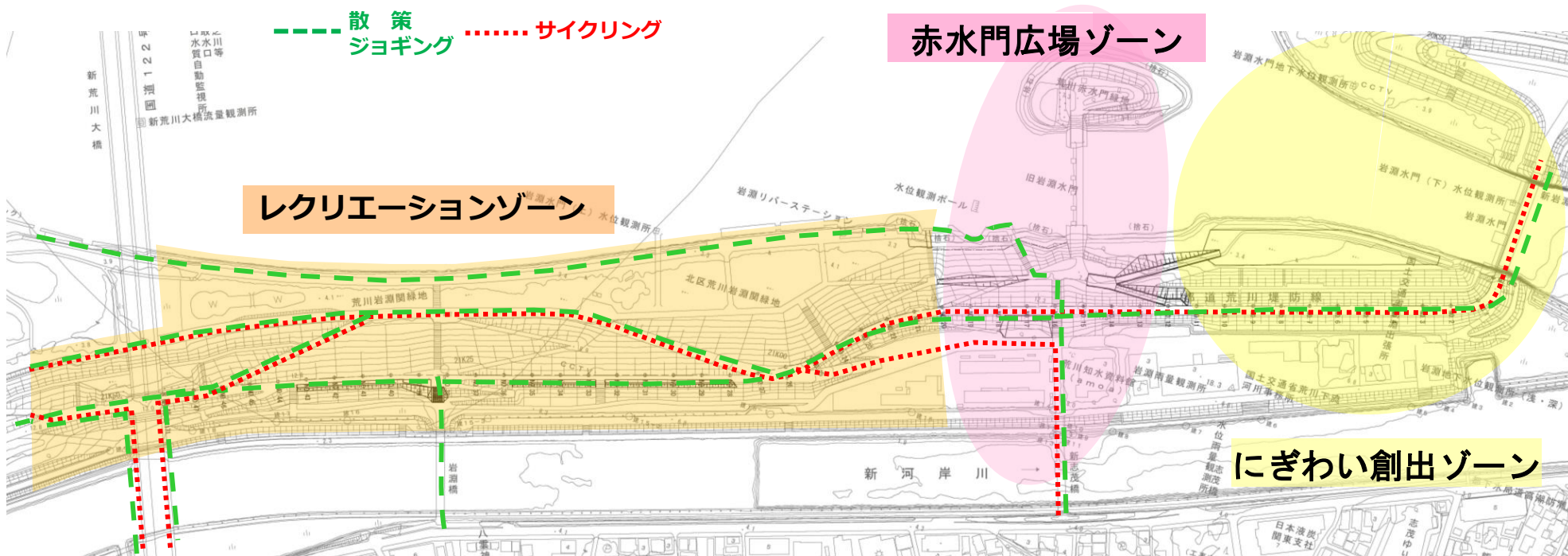
その他の主な意見

- ベンチの位置が問題。ベンチを置くことでオープンスペースが使いにくくなることはさける必要がある

2.2 基本設計について

2.2. 基本設計

➤ 河川敷 整備対象ゾーン



かわまちづくり計画 ゾーニング区分

■レクリエーションゾーン

バーベキュー、水上アクティビティなどにより、水辺空間のさらなる活用を図るゾーン

■赤水門広場ゾーン

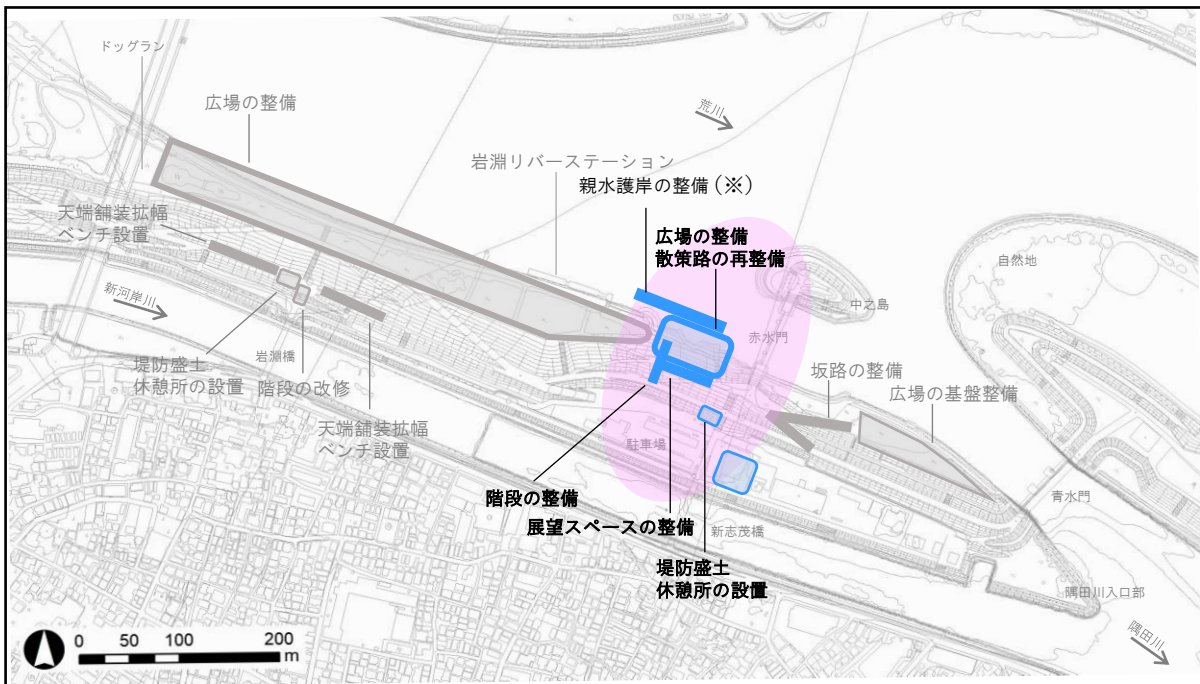
国の重要文化財指定を受けている「旧岩淵水門（赤水門）」、荒川知水資料館（amoa）をシンボルに観光拠点化を図るゾーン

■ にぎわい創出ゾーン

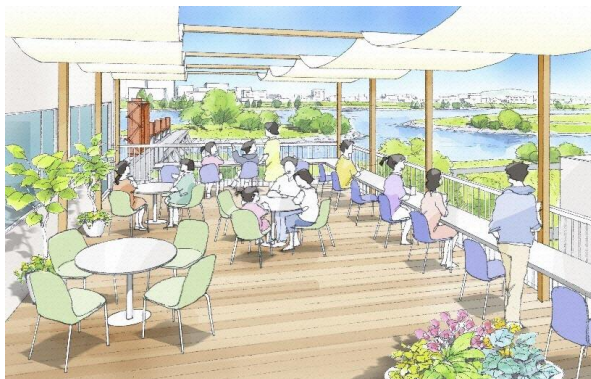
イベントでの活用など利用しやすい水辺空間・環境整備を図っていくゾーン

2.2. 基本設計

➤ 赤水門広場ゾーンの整備



※親水護岸については、赤水門広場ゾーンまたはレクリエーションゾーンで最適な箇所に1か所程度の整備を予定



荒川知水資料館 (amoa) の活用イメージ



赤水門広場ゾーンの活用イメージ

■かわまちづくり計画における活用の方向性

- ・観光拠点化・観光情報の発信
- ・防災教育
- ・拠点としての荒川知水資料館（amoa）の活用
- ・中之島へのインフラ整備（長期）

■利用者の活用イメージ

- ・ 赤水門への眺望を楽しみ散策しながら ゆっくり過ごす空間
- ・ 散策やサイクリング、イベントでの休憩スペース

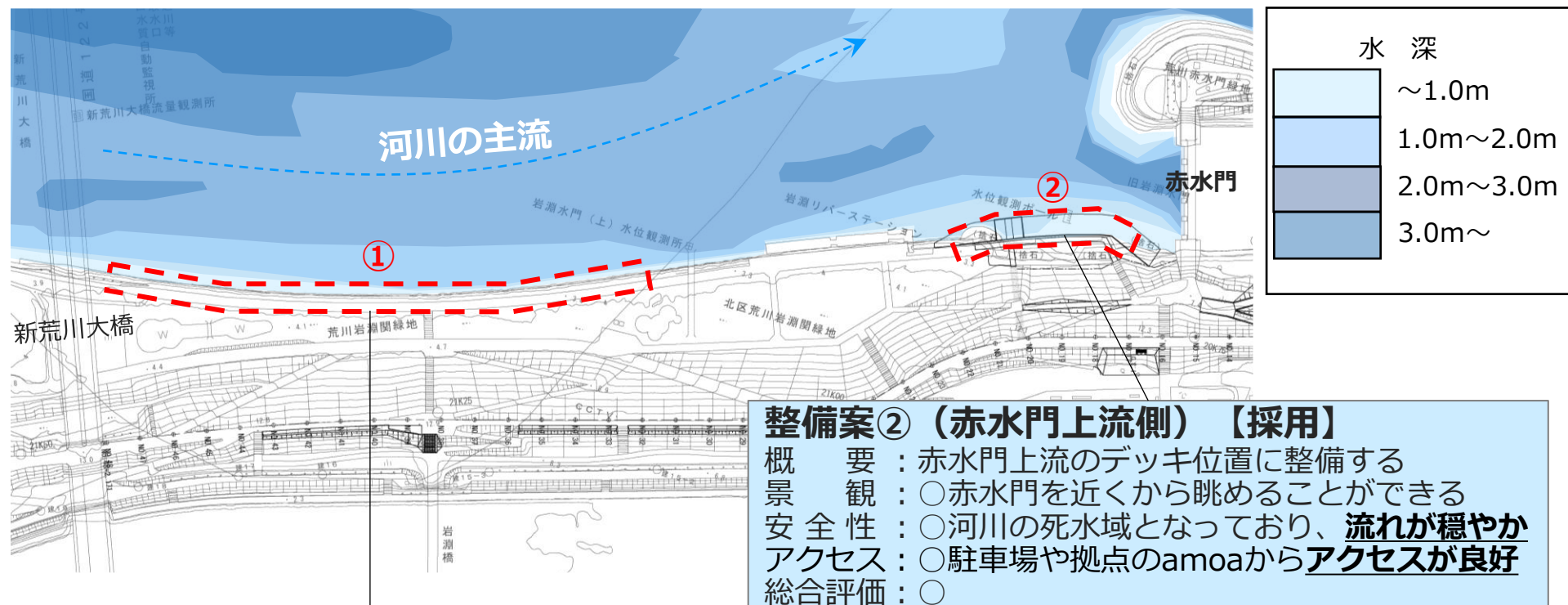
■整備内容（案）

- ・ **親水護岸の整備** **本日の報告**
 - ・ 広場の整備
(バーベキュー場管理棟の移設含む)
 - ・ 散策路の再整備
(実生木の一部伐採・剪定含む)
 - ・ 展望スペースの整備
(巨石を活用したベンチの設置含む)
 - ・ 階段の整備 (新規)
 - ・ 休憩スペースの整備
(日除け、ベンチ設置)
 - ・ amoa 3階の改修

2.2. 基本設計

➤ 赤水門広場ゾーン 親水護岸の整備

1. 親水護岸（整備位置）



整備案①（新荒川大橋下流側）

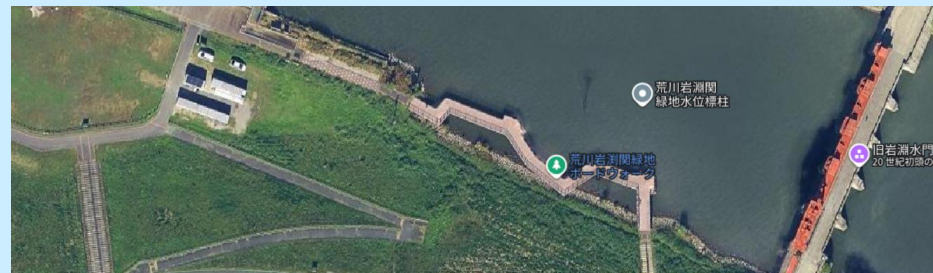
概要：新荒川大橋の下流に親水護岸を整備する

景観：△赤水門との距離が遠い

安全性：△河川の主流が流れており、**水深が深い**

アクセス：△駐車場や拠点のamoaから遠い

総合評価：△



2.2. 基本設計

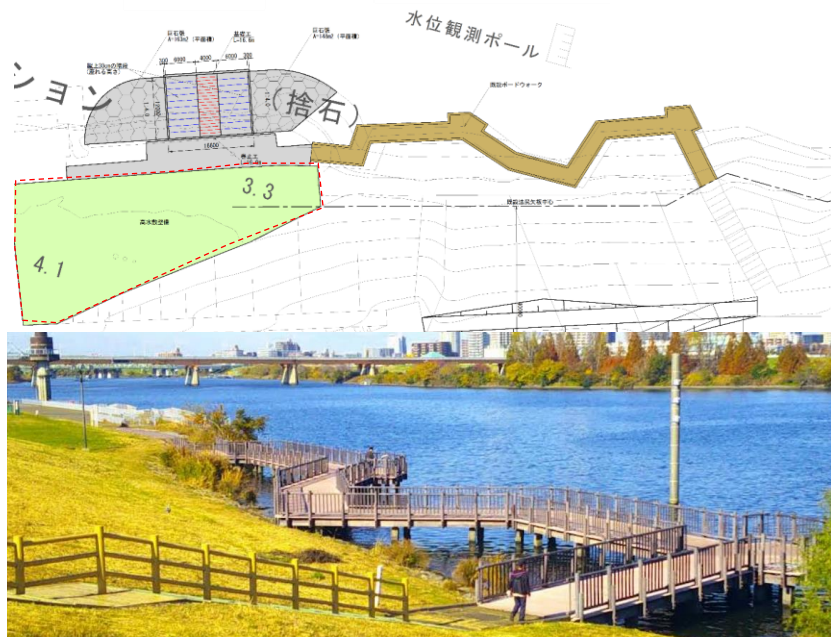
➤ 赤水門広場ゾーン 親水護岸の整備

2. 親水護岸（整備案）

A案：デッキ活用・現況

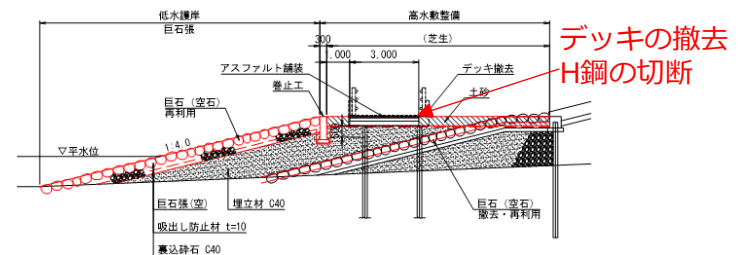
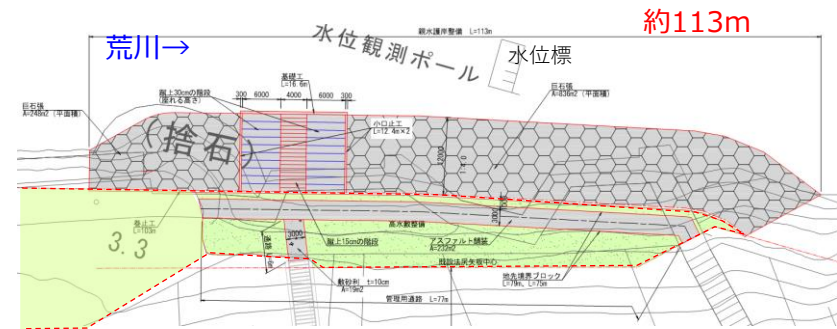
デッキを残して活用する。上流側の親水護岸により水辺に近寄れる場を創出する。
親水護岸背面にたたずめるスペース・滞留できる場を創出する。

荒川→



B案：デッキ撤去・管理用通路設置

デッキを撤去し、旧閘門への流れを阻害しない法線形状で親水護岸（高水敷）、管理用通路を整備する。
高水敷と管理用通路により、たたずめるスペース・滞留できる場、親水護岸により水辺に近寄れる場を創出する。



2.2. 基本設計

3. 親水護岸（参考事例）

愛媛県大洲市・肱川（おおずし・ひじかわ）



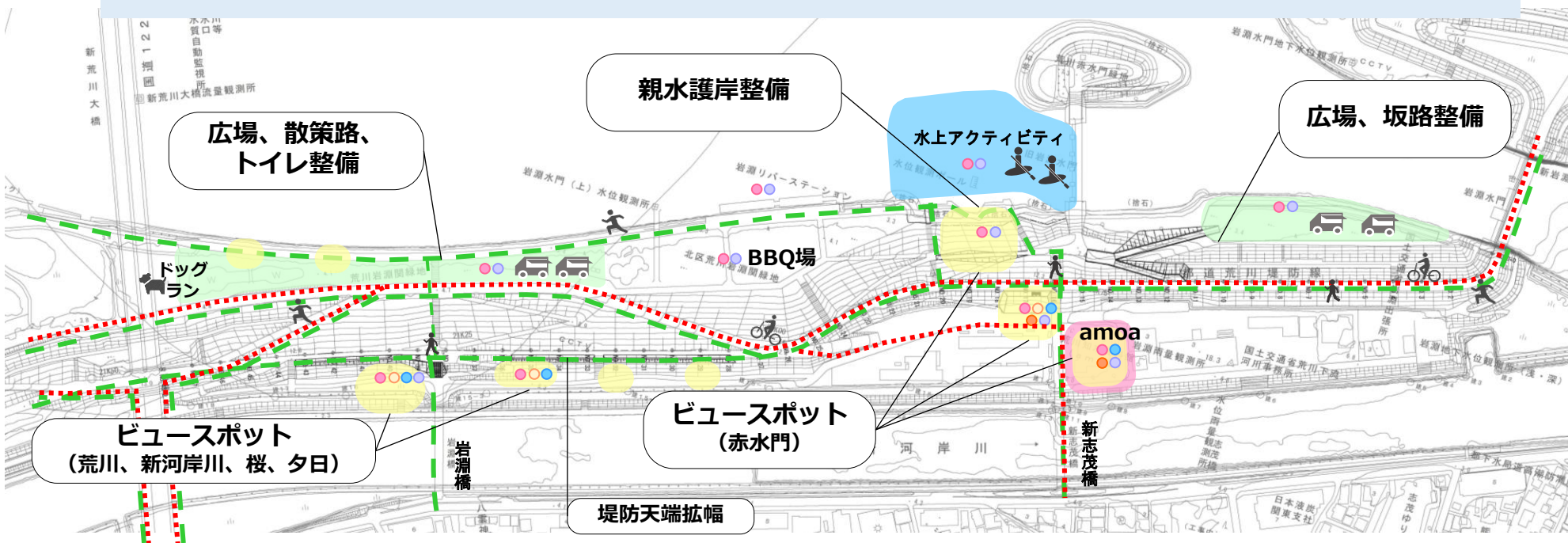
ドイツ・レーゲンスブルク



提供：二井昭佳（かわまち推進検討会 副会長）

2.2. 基本設計

➤ 河川敷整備による新たなスポット（活用イメージ）



遊ぶ

広場整備により、イベント開催のほか様々な活用が可能に

体験

親水護岸の整備により、水上アクティビティや環境学習の場に

休む

休憩施設の整備により、滞在空間を創出し新たなビュースポットに

学ぶ

amu'a 3階の改修により、活動拠点を創出し様々な交流の場に

*利用者の想定 ●住民 ●ペット連れ ●ランナー ●サイクリスト ●来街者 --- 散策ジョギング サイクリング

3. 今後のスケジュールについて

3. 今後のスケジュールについて

かわまち推進検討会

● 第1回検討会 R7.9.26

- ・ラボメンバー信任
- ・今後の検討事項について

● 第2回検討会 R8.2.4

- ・オープン化の区域（案）
- ・基本設計中間報告

● 第3回検討会 R8.6.4

- ・かわまちラボ活動報告
- ・基本設計について

● 第4回検討会 R8.10

- ・かわまちラボ活動報告
- ・オープン化の区域（承認）

● 第5回検討会 R9.5

- ・かわまちラボ活動報告
- ・運営スキームについて

かわまちラボ

● R7.10.27（準備会）

● 第1回 R7.12 活動① WS

- ・まち歩きによる回遊性等の検証（デザインワーク①）
- ・地域資源・拠点の発掘・PR手法の検討

● 第2回 R8.3 活動② WS

- ・ラボ実施内容の確認
- ・ハード整備／オープン化区域に対する意見交換
- ・アクセス性及び公共空間活用の検証（デザインワーク②）

● R8.4 活動（任意） 検証

● 第3回 R8.5 活動③ 検証・WS

実証実験による検証①

- ・アクセスルート／回遊性の向上の検証、PRの検証
- ・公共空間活用／オープン化区域（案）の検証

● 第4回 R8.7 活動④

- ・パッケージプログラムの検証①
- 河川敷の活用に係る検証／ライトアップなど夜間の活用検証
- ・運用スキームの意見交換

● 第5回 R8.11 活動⑤

- ・パッケージプログラムの検証②
- ・公共空間活用の検証（区域含む）

本日！

次回